

# 平和学習の取り組みについて NO1

自分たちの身近にある平和について学習しました。「平和」と一言でいうと漠然としていて、第2次世界大戦や、今現在、世界のいろいろな地域で起こっている戦争を連想するかもしれません。しかし、私たちの身の回りに当然のように「平和」が存在することも確かです。各学年の成長段階に合わせて教材を選び、「身近な平和」についての取り組みを紹介します。

## <1年生>

教材:かわいそうなぞう

ぼくがラーメンを食べるとき

へいわってすてきだね(与那国島の小学校1年生が書いた詩の絵本)



★おなががすいても、げいとうをしているぞうが、すごいとおもいました。ざんこくなせんそうはやめてほしいとおもいます。とちをうばいあうだけで、ころしいなんかしなくていいです。ぞうをころすより、ずっといいほうほうがあるとおもいました。

★ぼくがべんきょうしているときに、みんな大へんそうだとおもいました。おんなじぐらいの子がしごとをしていたり、赤ちゃんをそだてていたりして、とても大へんそうでした。生きてくても生きられない子がいて、こころがいたいです。

「へいわとは」・・・ともだちとおもいきりあそべること、学校でべんきょうできること、ルールをまもること、おなかいっぱいたべてぐっすりねむること、たんじょう日をおいわいしてくれること、あんしんしてわらってすごせること、せんそうがおきないこと、みんな生きていること、そして、人もどうぶつもみんなしあわせでいること

「へいわのためにできること」・・・あいさつをする、きゅうしょくをのこさず食べる、むだづかいせず大切につかう、ともだちにやさしくする、人をきずつけない、うそをつかない、けんかをしたらじぶんからあやまる、あいてのことをかんがえてたすけあう、そして、すべてのいのちを大せつにする

## <2年生>

軍犬になったモモ

軍用ウサギのびよん太

リタとロイドのものがたり

ぞう列車がやってきた

日本の戦争と動物たち①戦争につれていかれた動物たち

②戦争に利用された動物たち

③動物園から消えた動物たち



★せんそうは人間だけでなく、どうぶつもころすことなのだと思います。せんそうはいのちをうばうことなのだと思います。せんそうはもうしたくないと思いました。

★ウサギのびよん太の毛が人間の服になったなんてかなしかったです。

★動物をじっけんに使うなんて思わなかったからびっくりしました。ゆるせないと思いました。

★戦場に24万もの動物がつれていかれた(犬やほとやうま)。6万しか生き残っていないなんてかわいそうだった。

★せんそうはけんかによっておきるということは、けんかをなくし、いい世界にしていけないと思いました。

## <3年生>

教材:みんながくらしやすい町(道徳教科書)

パラリンピックのリーフレット作り(国語)

車いす 六條さんのお話(出会い)

車いす体験

「しあわせ」について考える



「パラリンピック」・・・一人ひとりの個性を大切に、誰もがスポーツを楽しめるように工夫されています。スポーツで競いながら自分の限界に挑戦することができます。

六條さんに出会って・・・車いすは80kgあり、大人6人でやっと持てること、2cmの段差でも上りにくいところがあること、停めてはいけな場所自に自転車や車があつて通りにくいことなど町の中で困っていることを聞きました。

車いす体験をして・・・少しの段差や坂道もこわいこと、車いすを押すとき、ブレーキをかけながら押すのが難しかった。

「みんなのしあわせ」・・・おいしいご飯を食べること、あつたかいお風呂に入ること、みんなと勉強できること、外で元気に遊ぶこと、本を読むこと、テレビを見ること、ゲームをすること、みんなの幸せはひとそれぞれであること。

「ふくし」・・・「ふ」ふだんの「く」くらしの「し」しあわせ

「ふだんの生活の中でできること・・・困っている人に声をかけること、友だちを大切にすること、けんかをしないこと、はげまし合うこと、友だちがうれくなる言葉を言ってあげること、みんなできよりよくすること、そして、みんなが笑顔になれることが平和だということ。

## <4年生>

教材:平和の種をまく

世界がもし100人の村だったら

★わたしが学習して思ったことは、なぜ戦争がおきるのかということです。戦争で土地やお金をうばい合うのなら分け合つて世界が協力し合えばいいと思います。戦争のもとになるけんかやぼう力をしないで、みんなが平等にせつて仲よくしていきたいと思います。

★3年生の発表を聞いて、平和ということは争いがなく、みんなが楽しく笑つてくらすることなんだなと思いました。けんかも悪口も人がいやだと思つたり、不公平なことが一回でもおこつたらもう平和じゃなくなつてしまうから、わたしたちもできることがあつたらやらないなと思いました。平和を作るのはとてもむずかしいと思いました。

わたしの思う身近な「平和」とは・・・みんなと仲良く遊んでいること

わたしが思う世界にとつての「平和」とは・・・みんながびくびくしてくらすないこと。

食料や土地を分け合つて争わない世界。

1・2年生は12月15日(水)に平和学習報告会を行いました。

3・4年生は12月7日(火)に平和報告会を行いました。

5・6年生は12月9日(木)に平和報告会を行いました。

## 平和学習の取り組みについて NO2

### <5年生>

教材:アニメ「ひめゆり」

歌「島唄」

絵本「平和ってどんなこと？」

新聞「知る沖縄戦」



★わたしたち5年生は、沖縄戦の様子や今の沖縄のようすについて学習しました。その中でも私は、戦争時の住民について調べました。調べたら、軍人よりも住民の方が戦争中に亡くなってしまった人が多いということが分かりました。

自分たちの学習を通して、戦争を知らない人たちに戦争のことを教えてあげたら、もっと平和の大切さが分かって平和になるんじゃないかなと思いました。

沖縄以外に起こった戦争の事をあまり知らなかったのですが、6年生の発表を聞いてくわしく知ることができました。原爆がいつ落とされたのか、どんな力だったのか、資料や資料館のことも含まれていてとても分かりやすかったです。

平和学習を通して、今の日本は戦争している時の日本と天と地ほど差があるなと思いました。だからこそ、沖縄戦などで死んでしまった人たちに誇れるような生き方をしたいと思いました。

★平和学習をして苦しい過去を見てつらかったです。そのことを伝えていくことが大切だなと思いました。今、笑えるのはすごく幸せなことでもけんかを減らすなどを意識して過ごしていきたいです。

★平和学習を通して戦争のことを決してわすれてはいけないと思いました。学校に行けること、ごはんをおなかいっぱい食べられることは当たり前じゃないと感じました。これから一日一日どれだけ大切にどれだけ楽しく幸せなのか考えながら生活したいと思いました。

★僕たちは、沖縄で行われた戦争について学習しました。学習の中で「ひめゆり」のアニメを見ました。内容が恐ろしくて怖くて泣きそうになりました。学習で戦争の悲惨さや残こくさ、当時の島の人や子どもたちまで大変な思いをしていることを学びました。

6年生の発表では、原爆の大きさや危険さ、戦争の悲惨さを知りました。

平和学習を通して自分にとっても深く考えられる機会になりました。これからも身近な友だちを大切に、平和な世の中が続くようにできることをやっていきたいと思っています。

**【平和な世の中が続くようにできることをやる】って、具体的にどんなことをやっていったらよいのだろうか？**

毎日生活する中に「小さな戦争のたまご」は存在します。毎日楽しいこと、うれしいこと、わくわくすること、悲しいこと、納得いかないこと、くやしいこと、いやないい方をしたり、無視をしたり、仲間はずれにしたり、されたり等、様々な感情が生まれ、出来事が起こります。そんな毎日の中で、どう解決して「平和な気持ち」になれるか、「平和な教室、学校にしていくなか」が大切です。困ったことがあれば、周りの大人や友だちに相談して解決していきます。先生たちはみなさんの味方です。みなさんの心が「平和」になるように、みなさんのクラスが「平和」になるように全力で助けます。

自分たちにできることをやろう！と決めた人はまず、クラスの友だちへの関わり方、接し方、声のかけ方を変えてみましょう。きっと何かが変わるはず。Let's try!

### <6年生>

教材:はだしのゲン(DVD)

修学旅行 広島平和記録資料館

広島被ばく体験講話(梶本淑子さん)動画



★今までの平和学習で強く思ったことが2つあります。1つ目は戦争は人の命を無だにするだけだからしてはいけないということ。2つ目は原爆は1つだけで約13万人近くの人々の命をうばうことができる悪まのぶきなので、もうどんなことがあっても使ってはいけなくて改めて思いました。これからは、けんかのない、みんなが安心してくらせる世界になってほしい。

★5年生に発表することで、自分たちの平和に対する思いを深めることができたし、戦争のことを伝えて、戦争をなくすという思いは、6年生も5年生も同じだと感じた。

★今では考えられないようなことでも、少し前の昔には実際にあったことだから、しっかり向き合っていこうと思った。もし、身内のだれかがとつぜん死んだら、自分は立ち直れないと思う。だから、それでもがんばれる元(ゲン)がすごいと思った。わたしも、つらいことがあっても前を向いていられるそんな強い人になりたいと思った。

★原爆の被害にあった人の話を聞いていると、資料館で資料を見た時や、実際に碑めぐりをして話を聞いた時よりもずっと残こくな話だった。被ばくした人の話からどんな事が起きたのかが伝わってきてすごく怖かった。人が焼けて皮膚がただれるなんて考えられないし、顔がなくなるような事も考えられない。

★今もまだ世界には核兵器がたくさんあって、それは、広島に落ちた原爆よりも何倍も強い力があると分かってびっくりした。早く核兵器が世界からなくなってほしいと思った。

★きっと今、地球のどこかで戦争をしているくがいて、多くの死者や孤児がいると思います。どうして戦争がおこり、どうして続いているのかを知り、少しでも多くの人の命を救いたい。

★戦争で中学生の人がたくさん亡くなっていった。なのに、今はいじめや虐待、自殺などで死んでしまうのは仕方のないことだと思っていただけ、どんなにつらくて死にたかったとしても、簡単に死んではいけない。

★梶本淑子さんが「戦争では何も解決しない」「命を大切にしてほしい。」とおっしゃっていました。被ばくしたからこそ分かる命の大切さを自分の命はもちろん、人をいじめて死に追いやることは絶対にしてはいけないと学びました。

★自分たちが戦争について伝える事でそれがもっと伝わり、戦争をなくすことにつながると思います。戦争をなくすために自分たちにできる事をやりたいと思います。

★友だちや家族と一日一日を大切にしていこうと思います。

★平和で自由な時代に生まれてこれたことに感謝しないとけないと思った。

平和とは・・・人を傷つけず、自由に生きること

人と人がつながり合い、仲良くすること

いつもの毎日を生きること

何かにおびえずに過ごせること

安心して暮らせること

世界に必要なもの

